

ママのお手つだい

岩手県 奥州市立木細工小学校 二年

菊池

優花

「ただいま。」

ママがかえってくるのはだいたい七時。

「おかえり。」

ゆう花は買いものぶくろを
だいどころにはこぶ。

「ありがとう。」

ママはにこにこしていた。

ママはすぐにきがえて夕はんじゅんび。

たいへんだなあ。

つかれていそうだなあ。

お手つだいしようかなあ。

「ママ、ママ。」

二さいのりんちゃんか

ママの足にしがみつく。

「ごはんのあとね。」

ママが言っても聞かない。

「りんちゃんあん、いっしょにあそぼう。」

わたしは大きなこえで言った。

りんちゃんとおままごと。

「ゆう花、ママのかわりにありがとう。」

ママはまだ、夕はんじゅんび。

りんちゃんが一人であそんでいるときは、

「ママ、お手つだいしたい。」

とたのんでみる。

「じゃあ、かんたんなのからね。」

ママのとなりでおとうふ切り。

手を切らないようにゆつくり。

あぶらあげや、やさいは、ママ。

ママはパッパと早く切る。

おみそを入れて、できあがり。

「お手つだいありがとう。」

せんたくたたみや、おかたづけ。

つぎは、むずかしいお手つだいも

がんばるよ。

ママみたいにあぶらあげも切りたいな。